

RYOWA REPORT

第77期 中間期 業績のご報告

2025年4月1日～2025年9月30日

株主通信

vol.51

証券コード 1965

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの当中間期の受注高は、前年同期を下回る結果となりましたが、これは前期に複数の大型物件を受注できたことの反動によるものであり、今期の受注状況は、概ね計画通りに推移しています。売上高につきましては、前年度から繰り越した大型物件の施工が順調に進捗したことで増収となり、利益につきましても、売上高の増加に加え生産性の向上もあり、前年同期を大幅に上回る結果となりました。

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 下半期につきましては、賃上げの継続等により実質所得が改善し、個人消費の回復が景気を支えるものと見込めますが、米国の関税政策を含め外需の不透明感が続いており、景気を減速させる懸念も拭えません。建設業界におきましては、企業の設備投資意欲は引き続き高い水準を保っており、業界全体としては堅調な動きが続くと考えられます。

当期の連結業績見通しにつきましては、売上高、利益とも期初の計画値を上回る見通しであり、本年9月に業績予想の修正を公表いたしました。

Q 株主のみなさまへメッセージをお願いいたします。

A 国内における建設投資は増加基調で推移しておりますが、企業の設備投資動向は、景気の好不調に大きく影響を受けます。業績が好調な今こそ、将来の景気変動に備えて、新しいことへのチャレンジが必要であり、当社の技術力の向上につながる研究開発や業務の省力化を実現するためのDX投資、企業のブランド力をあげるための広告宣伝などの施策を実行してまいります。

当期の中間配当金につきましては、1株につき50円をお支払いすることとし、年間では期末配当金58円を加えた1株につき108円とさせていただきます予定にしております。

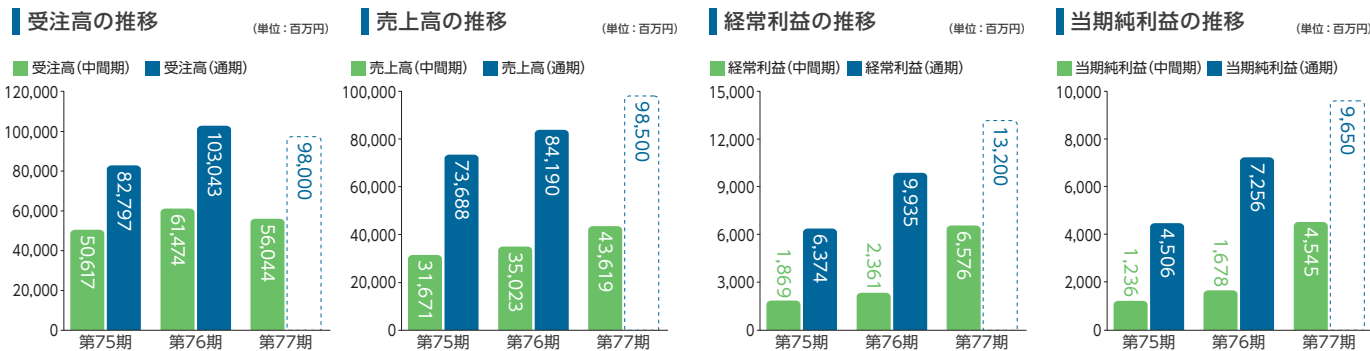
当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。



株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

加藤 雅也

Kato Masaya

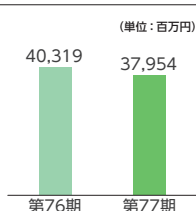


受注高構成比 (総受注高に対する割合を示しています。)

産業設備工事

67.7% 37,954百万円

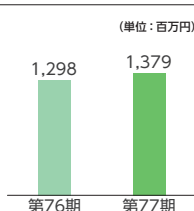
当中間期は、前年同期と比べ5.9%の減少となりましたが、概ね期初の計画通りに推移しており、電子デバイスおよび食品関連の工場をはじめとして、バランスのとれた受注活動を推進してまいりました。



電気設備工事

2.5% 1,379百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

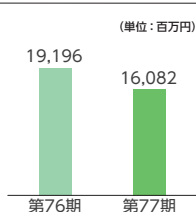
1.1% 628百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

一般ビル設備工事

28.7% 16,082百万円

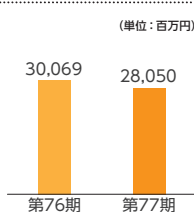
当中間期は、前期に大型物件の受注があったことの反動もあり、前年同期と比べ16.2%の減少となりましたが、庁舎や病院施設等の受注が堅調に推移いたしました。



設備改善工事

50.0% 28,050百万円

お客様施設の定期的なメンテナンスを行い、老朽施設の設備改善や高効率空調システムの提案など「お客様の環境パートナー」として施設の省エネルギー化に取り組み、環境負荷の低減に貢献しております。



テクノ菱和のCSR

人権デュー・ディリジェンスの取り組み

当社グループは、国連で採択された「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、人権方針の策定や人権デュー・ディリジェンスの強化に取り組んでいます。2024年度からは外部専門家の助言を得ながら、デスクトップ調査による外部データとワークショップによる内部視点に基づき、人権リスクの洗い出しを行っております。

これらを踏まえ、今後は対応状況の確認、推進体制の整備、教育や啓発、救済メカニズムの検討といった施策を実施してまいります。

デスクトップ調査による
外部データに基づく
人権リスクの洗い出し

ワークショップによる
内部視点に基づく
人権リスクの洗い出し

潜在的に懸念される人権テーマ

- 国内取引先における、国内の工事施工に従事する外国人労働者への対応
- 長時間・過重労働と労働安全衛生への対応(特に工事施工従事者)
- 工事施工現場における女性の労働環境
- ハラスメント(パワハラ、セクハラ等)
- 機器・資材の調達先や工事施工の協力会社への不当な要求
- 処遇や業務割り振りを決定する際の差別的取り扱い(性別、障がいの有無、国籍、雇用形態、育児短時間勤務制度の利用の有無等)
- 海外拠点における労働者の労働環境
- 紛争鉱物(責任ある鉱物調達)

株主通信ページ数削減のお知らせ

株主のみなさまに対する事業活動のご報告として「株主通信」をお届けしておりますが、他のIR資料との重複が多いことや環境に配慮した省資源化の観点から、今後の株主通信につきましてはページ数を一部削減させていただくことといたしました。なお、より充実した情報が掲載されている「統合報告書」が当社ホームページにてご覧いただけますので、ぜひご参照ください。

株主のみなさまにはご不便をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



統合報告書

詳しい情報はウェブサイトへ



テクノ菱和 検索

会社概要

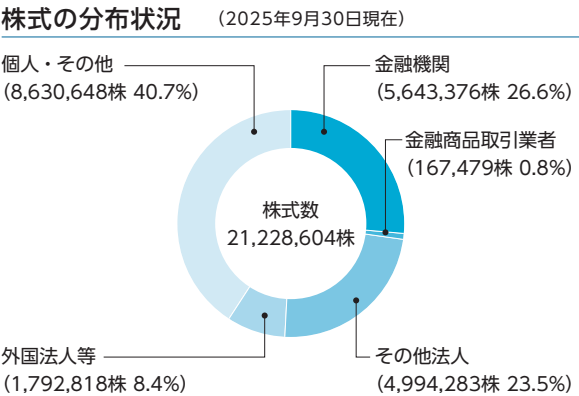
(2025年9月30日現在)

商号	株式会社テクノ菱和 (英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設立	1949年12月23日
資本金	2,746,800,000円
上場	東京証券取引所スタンダード市場
従業員	865名 (連結992名)
本社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地	東京都港区芝大門2丁目12番8号

取締役

(2025年9月30日現在)

代表取締役会長	黒田英彦
代表取締役社長執行役員	加藤雅也
取締役専務執行役員	大石勉
取締役専務執行役員	袴田一博
取締役上席執行役員	鈴木俊夫
社外取締役	田中雅敏
社外取締役	佐古麻衣子
取締役 (常勤監査等委員)	常木茂
社外取締役 (監査等委員)	大島浩司
社外取締役 (監査等委員)	伊豫田至



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待品「特選茶」

ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2/パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1/パック贈呈

株式の状況

(2025年9月30日現在)

発行済株式の総数	21,228,604株
株主数	7,223名

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単 元 株 式 数 100株

公 告 掲 載 U R L <https://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が発生した時には、日本経済新聞に公告します。)

諸 手 続 き 【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】
お 問 い 合 せ 先 ●証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせください。
●特別口座に登録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。